

医学科教育学修プログラム

令和4年度

6年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

令和4年度 授業時間配当表(医学科6年次)

6年次	前 期(16)											後 期(8)									
	前半(4)					後半(12)						前半(4)					後半(4)				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	医療情報学2	医療情報学2	医療情報学2	保健予防医学	医療情報学2	臨床実習 II	1														
2	保健予防医学	保健予防医学	保健予防医学	保健予防医学	保健予防医学	臨床実習 II	2														
3	臨床医学特論2	臨床医学特論2	臨床医学特論2	臨床医学特論2	臨床医学特論2	臨床実習 II	3														
4	臨床医学特論2	臨床医学特論2	臨床医学特論2	臨床医学特論2	臨床医学特論2	臨床実習 II	4														
5											5										

※配当表のとおり実施できない科目がありますので、シラバスを確認すること。
 ※5限目等で補講を行う。休講補講等の通知は掲示板で行うので確認すること。

令和4年度・七曜表

(医学科6年次)

	前期							週数
	日	月	火	水	木	金	土	
4						1	2	補
	3	4	5	6	7	8	9	1
	10	11	12	13	14	15	16	2
	17	18	19	20	21	22	23	3
	24	25	26	27	28	29	30	4・試
5	1	2	3	4	5	6	7	試
	8	9	10	11	12	13	14	再
	15	16	17	18	19	20	21	5
	22	23	24	25	26	27	28	6
	29	30	31	1	2	3	4	7
6	5	6	7	8	9	10	11	8
	12	13	14	15	16	17	18	9
	19	20	21	22	23	24	25	10
	26	27	28	29	30	1	2	11
7	3	4	5	6	7	8	9	12
	10	11	12	13	14	15	16	13
	17	18	19	20	21	22	23	14
	24	25	26	27	28	29	30	15
	31	1	2	3	4	5	6	16
8	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31	1	2	3	
9	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30		再

	後期							週数
	日	月	火	水	木	金	土	
10							1	試験・再試験
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31	1	2	3	4	5	
11	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	
12	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
	1	2	3	4	5	6	7	
1	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31	1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	
2	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	
3	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		

備考

- ◇ 5月2日(月) 試験日
- ◇ 5月6日(金) 試験日
- ◇ 5月9日(月) 再試験期間開始
- ◇ 5月13日(金) 再試験期間終了
- ◇ 9月29日(木) 再試験日(予備日)
- ◇ 9月30日(金) 再試験日(予備日)

- ◇ 未定 卒業試験
- ◇ 未定 卒業試験(再試験)
- ◇ 未定 Post-CC OSCE

Q1 ■ 月曜授業 ■ 火曜授業 ■ 水曜授業 ■ 木曜授業 ■ 金曜授業 ■ 臨床実習
■ 臨床実習Ⅱの期間

鳥取大学医学部医学科コンピテンシ・コンピテンシーとの関連表【6年次】

凡例	高度 Advance d	A	6年				卒業時の到達度
	応用 Applied	B	保健 予防 医学	医療 情報 学 2	臨床 実習 II	臨床 医学 特論 2	
	基盤 Basic	C					
		D					
	E						
	F						
学年	科目名	単位					
		医師と同等のレベルであること					
		スチューデントドクター相当の医学生として模範的に関与、行動できる					
		基盤となる能力を習得していること					
		基盤となる知識を習得していること					
		経験・習得する機会はあるが、単位認定に関係ない					
		経験・習得する機会がない					
I 倫理・プロフェッショナリズム							
・責任ある医療を実践するための倫理観を持ち、それに基づいて行動できる。 ・患者の利益を重視する患者中心の医療を習得し、実践できる。 ・生涯にわたり自己研鑽して高い医療水準と誠実さを持ち続けるために、内発的動機による自己学習能力を持ち、応用できる。							
1		医の倫理および生命倫理を理解して、適切に行動または判断できる。	C	B	B	C	B
2		利益相反等、研究倫理に関わる問題を理解して、適切に行動または判断できる。	C	B	B	C	B
3		患者や家族のプライバシーに配慮し、守秘義務を厳守することができる。	E	B	A	C	A
4		患者中心の医療について理解し、実践できる。	C	B	B	C	B
5		内発的動機の重要性を理解して自己学習し、医療の知識、技能、態度を維持向上することができる。	F	B	B	C	B
6		社会的に求められる医師像について討論し、目指す医師像を明確にすることができる。	D	B	B	C	B
7		社会的使命を果たすため、信頼できる行動をとることができる。	D	B	B	C	B
8		患者や家族にはさまざまな価値観があることを認識し、受け入れることができる。	D	B	A	C	A
9		同僚や後輩との間で、診療に関する知識や技能を教えあつて共有できる。	E	B	B	E	B
10		様々なキャリアの医師と交流して、主体的に自らのキャリアについて考えることができる。	E	B	B	E	B
II コミュニケーション							
・思いやりや共感的理解力といったヒューマンコミュニケーション能力を実践的に習得して、医療現場等で応用できる。 ・障害者とコミュニケーションしたり、地域フィールドの中でコミュニケーションしたりする能力を実践的に習得して、医療現場等で応用できる。 ・情報社会を理解して、安全かつ有効に情報ネットワークを活用できる。							
1		患者や患者家族とコミュニケーションを通じて、良好な関係を築くことができる。	D	B	A	C	A
2		医療チームのメンバーとコミュニケーションを通じて、連携を図ることができる。	D	B	B	D	B
3		聴覚障害者などの障害者と手話等でコミュニケーションをとって、円滑な診療をサポートすることができる。	F	F	B	F	A
4		地域フィールドの中で、地域住民、行政関係者、医療関係者らとコミュニケーションをとり、社会性を身につけ良好な関係を築くことができる。	D	B	B	C	B
5		安全かつ有効に情報ネットワークを活用してコミュニケーションを取ったり、情報を収集したりできる。	F	A	B	D	B
III チーム医療							
・他の医療従事者の役割を理解し、連携してチーム医療を行う能力とともに、医師としてリーダーシップを発揮してチームビルディングする能力を習得する。							
1		医療チームの中で役割を持ち、適切に相談・報告・連絡を行うことができる。	F	B	B	F	B
2		他の医療専門職を目指す学生と交流し、それぞれに異なる価値観があることを認識し、受け入れることができる。	F	B	A	F	A
3		他の医療専門職との連携を実践できる。	F	B	B	D	B
IV 医学の知識							
・最新の基礎科学、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を習得して、応用できる。 ・医療安全の基礎を学び、予防と対策を講じることができる。							
1		物理学・化学・生物学の知識を人体の構造や機能の理解に応用できる。	F	B	B	D	B
2		人体の正常構造と機能や生命現象に関する知識を習得して、病態の理解に応用できる。	E	B	B	D	B
3		人体に関する正常および病態の知識を診断・治療に応用できる。	E	B	B	D	B
4		診療に関わる基本的知識と技能を習得して、臨床実習に実践・応用できる。	E	B	B	D	B
5		ガイドラインや論文の情報を活用して、科学的根拠に基づく医療（EBM）を実践できる。	E	B	B	D	B
6		疫学、予防、保健、福祉、医療経済といった医療の社会性に関する知識を習得して、地域で応用できる。	D	B	B	D	B
7		医療安全の知識を習得して、患者や医療従事者に起こる医療上の事故及び医療関連感染症を防ぐことができる。	D	B	A	D	A
V 診療の実践							
・診療に必要な症候・病態について理解するとともに、基本的な診療知識と診療技能を用いて医療面接および身体診察を行い、得られた情報をもとに臨床診断を行い、治療計画を立案することができる。 ・総合的診療および全人的医療の能力を習得し、実践できる。							
1		早期から医療従事者としてのモチベーションを高めて実践的に示すことができる。	E	C	E	E	B
2		適切な医療面接で患者の病歴を正しく聴取して整理できる。	F	C	B	C	B
3		身体診察を適切に行って全身状態や身体各部の所見をとり、病状を判断できる。	F	C	B	C	B
4		病歴や身体診察の結果から必要な検査を選択し、検査結果を解釈できる。	E	C	B	C	B
5		病歴、診察所見、検査結果等の情報を整理して臨床推論を行い、疾患を診断することができる。	E	C	B	C	B
6		適切な治療計画を立案することができる。	E	C	B	C	B
7		診療録や医療文書を適切に作成できる。	F	C	B	F	B
8		病状説明や患者教育に参加できる。	E	C	B	C	B
9		カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、討議できる。	F	C	B	F	B
VI 知的探究と創造性							
・常に知的探究心を持ち、基礎と臨床の連携で涵養されるリサーチマインドを身につけるとともに、実践的に医学研究に応用できる。 ・イノベーションの重要性を理解して、実践できる。							
1		医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、重要性を理解できる。	E	B	B	C	B
2		医学的・科学的に意義のある研究課題を見出し、研究に取り組むことができる。	F	B	B	F	B
3		データを解析し、論理的に発表・討論してプレゼンテーションできる。	C	B	B	D	B
4		臨床的に意義のある研究課題を見出し、トランスレーショナルリサーチの可能性について探索できる。	F	C	B	C	B
5		創造性豊かな医療人となる基礎を身につけて、診療や医学研究に応用できる。	E	C	E	C	CD
6		医療における発明の重要性を理解して、イノベーションを実践できる。	E	C	E	C	C
VII 国際性							
・グローバル化に対応できる語学能力と国際感覚を身につけて、応用できる。							
1		英語を母国語とする人と対話ができる。	F	F	E	F	C
2		国際的な視点で医学研究の情報を収集し、議論して発信できる。	F	F	B	F	B
3		診療英会話を習得して、実践できる。	E	F	E	E	C
4		国際交流に関心を持ち、多様な異文化を理解できる。	D	B	E	D	B
VIII 地域医療							
・地域社会を大切に思い、地域における医療のニーズを認識したうえで、地域医療に貢献できる。							
1		地域住民の健康状態には、家族、地域社会、文化などの社会環境が関与していることを理解できる。	C	F	C	C	C
2		地域医療に必要なプライマリケアの考え方や技能を習得し、基礎的事項を実践できる。	F	F	C	C	C
3		地域や地域で暮らす人を尊重し、コミュニティと連携して地域医療の向上に貢献できる。	F	F	D	D	D

医学科6年次目次

6年次前期

区分	授業科目名	
必修 専門科目	保健予防医学 6
必修 専門科目	医療情報学2 7
必修 専門科目	臨床医学特論2 8
必修 専門科目	臨床実習Ⅱ 9

※臨床実習Ⅰ・Ⅱについては、オリエンテーションで配布する手引を参照してください。

授業のレベルについて

- 1: 入門及び初級レベル
- 2: 中級レベル(基礎科目)
- 3: 中級～上級レベル(応用科目)
- 4: 上級レベル(発展科目)
- 5: 大学院レベル

保健予防医学

科目到達目標: 公衆衛生学、衛生学全般に関する知識を習得し、国家試験に備える。
 科目責任者(所属): 尾崎 米厚(環境予防医学)

連絡先: 環境予防医学分野 0859-38-6103

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1	4/1(金)	2	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	患者の人権・医の倫理、社会と医療	尾崎 米厚	環境予防医学	予習: 直近の国家試験が概要、難易度、特徴について調べておく、復習: 医の倫理に関する医師国家試験の過去問を解いてみる	医の倫理と医師の義務、医師と患者および家族との関係、チーム医療、先端医療技術の社会との調和
2	4/4(月)	2	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	保健医療論: 健康・疾病・障害と社会環境、保健・医療・福祉・介護、国際保健	天野 宏紀	健康政策医学	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	健康の定義、歴史的変遷、環境、疾病構造、ライフステージ、QOL、ADL、ノーマライゼーション、医療・社会福祉資源・施設・機能、医事・保健・介護関連法規、国際協力、WHO、ILO、NGO
3	4/6(水)	2	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	保健医療論: 社会保障制度と医療経済	天野 宏紀	健康政策医学	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	国民医療費、社会福祉、社会保険、医療経済、医療の質
4	4/7(木)	1	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	国際保健	飽浦 淳介	視覚病態学 (非常勤講師)	WHOやユニセフやJICA(日本のODA)など、世界の健康問題を扱う国際機関や民間の組織のことや、世界の健康・保健状況を、医学を学び将来それを実践する者の常識として知っておくこと。	国際保健、国際医療協力、眼科疾患、熱帯医学
5	4/7(木)	2	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	保健医療論: 地域保健、地域医療	天野 宏紀	健康政策医学	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	医療圏、プライマリヘルスケア、健康増進、地域包括医療、救急医療、へき地医療、健康日本21、健康教育
6	4/8(金)	2	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	生活習慣とリスク、健康の保持増進	桑原 祐樹	環境予防医学	予習: キーワードに関連する医師国家試験の過去問にはどのようなものがあるかを見ておく、復習: 生活習慣とリスク、健康の保持増進に関する医師国家試験の過去問を解いてみる。	予防医学、健康日本21、健康増進法、生活習慣病とリスクファクター(食生活、運動、休養・心の健康(睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防))、健康寿命の延伸と生活の質(quality of life<QOL>)向上、行動変容、健康づくり支援のための環境
7	4/11(月)	2	122	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	環境保健	増本 年男	健康政策医学	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	地球環境問題、公害、環境保全、廃棄物、環境基本法、環境基準、環境影響評価
8	4/12(火)	2	122	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	国民栄養、食品保健、学校保健	天野 宏紀	健康政策医学	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	国民栄養の現状、国民健康栄養調査、食品衛生法、食品添加物、児童生徒の健康課題、学校保健対策の現状
9	4/13(水)	2	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	高齢者保健、終末期医療	金城 文	環境予防医学	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	高齢者保健、高齢者医療、介護保険法、地域包括支援センター、在宅医療、終末期医療
10	4/14(木)	2	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	母子保健	金城 文	環境予防医学	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	母子保健統計、母子保健法、すこやか親子21、女性労働者の母性保護、母体保護法、児童福祉法、児童虐待防止法
11	4/15(金)	2	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	衛生行政のトピックス	桑原 祐樹	環境予防医学	予習: キーワードに関連する医師国家試験の過去問にはどのようなものがあるかを見ておく、復習: 授業で解説した医師国家試験の過去問を解いてみる。	地域医療構想、多職種連携、健康の社会決定因子、食中毒、保健所の役割、主治医意見書、高齢者の転倒、地域保健、高齢者虐待、NCDs、国際生活機能分類、職場のメンタルヘルス対策、ポリファーマシー
12	4/18(月)	2	122	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	生活環境因子・職業性因子と疾患: 物理的原因、産業保健・職業性疾患	増本 年男	健康政策医学	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	作業関連疾患、作業様態関連障害(VDT、腰痛など)、金属中毒、化学物質中毒環境医学、騒音障害、気象医学(熱中症など)、振動障害、産業医、健康管理・作業環境管理・作業管理、業務上疾病、管理体制、許容濃度・管理濃度、労働災害、トータルヘルスマネジメント
13	4/19(火)	2	122	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	疫学方法論、人口・保健統計	尾崎 米厚	環境予防医学	復習: 医師国家試験の疫学・保健統計に関する過去問にはどのようなものがあるかを見ておく、復習: 疫学・保険統計学に関する医師国家試験の過去問を解いてみる。	疫学研究方法論、年齢調整・標準化、リスク比、疫学の諸指標、スクリーニング検査、生命表、人口動態、人口動態統計
14	4/22(金)	2	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	感染症対策、精神保健福祉	金城 文	環境予防医学	講義で学習した内容に関する小テストに回答する。	感染症対策の基本事項、感染症法、予防接種法、検疫法、国際保健規則、院内感染対策、薬剤耐性対策、精神保健福祉法、精神保健統計
15	4/25(月)	2	131	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	聞こえない人の特性とコミュニケーション	石橋 大吾	解剖学 (非常勤講師)	〈予習〉手話言語の教育で学んだ聞こえない人の特性とコミュニケーション方法に関して思い出しておく。 〈復習〉医療従事者として、聞こえない患者にどのように向き合う必要があるか理解を深めるよう、授業内容をまとめ、理解を深めること。	聞こえない人、医療現場
16	4/26(火)	2	122	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	税について一般知識を理解	未定 海藤 俊行	解剖学 (非常勤講師)	〈復習〉授業で学んだ税に関する一般知識について、授業内容をまとめ、理解を深めること。	1.財政健全化(国の財政状況)、所得・資産・消費における税負担、消費税増税の背景 2.社会保障制度と税制(社会保障と税の一体改革とは) 3.ライフステージにおける税との関わり方(所得税～相続税)、申告納税制度(確定申告の必要な場合)

教育グランドデザインとの関連: 1、2

学位授与の方針との関連: 1、4

授業のレベル: 1(初級)

評価: 定期試験 100%

実務経験との関連: 国、自治体で関連分野に関わる医師、教員が各自の専門分野に関する講義をおこなう。

教科書: 「国民衛生の動向」(厚生労働統計協会)

医療情報学2

科目到達目標: 臨床現場に必要な医療情報学の考え方が理解できる。

科目責任者(所属教室): 寺本 圭(医療情報部)

連絡先: kei@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1	4/4(月)	1	322・323 サテライト	対面	ハター3遠隔 (リアルタイム学習)	個人情報保護と医療情報システム	寺本 圭	医療情報部	個人情報保護と医療情報システムについて説明できる。	個人情報保護、情報漏洩
2	4/11(月)	1	122	対面	ハター3遠隔 (リアルタイム学習)	医療情報システムの発展プロセス	寺本 圭	医療情報部	医療情報システムの発展プロセスについて説明できる。	医療情報システム、オンライン診療、モバイルヘルス、AI
3	4/15(金)	1	322・323 サテライト	対面	ハター3遠隔 (リアルタイム学習)	病院情報システムと安全管理	寺本 圭	医療情報部	病院情報システムと安全管理について説明できる。	フェイルセーフ、フルプルーフ、ヒューマンエラー
4	4/18(月)	1	122	対面	ハター2遠隔 (オンデマンド学習)	医療情報とセキュリティ	寺本 圭	医療情報部	医療情報とセキュリティについて説明できる。	ISMS、セキュリティ技術
5	4/19(火)	1	322・323 サテライト	対面	ハター3遠隔 (リアルタイム学習)	臨床疫学とEBMの基礎	寺本 圭	医療情報部	臨床疫学とEBMの基礎について説明できる。	メタ分析、交絡、EBM
6	4/22(金)	1	322・323 サテライト	対面	ハター3遠隔 (リアルタイム学習)	医療経済学基礎	寺本 圭	医療情報部	医療経済学基礎 について説明できる。	医療費、医療資源
7	4/25(月)	1	322・323 サテライト	ハター2遠隔(オンデマンド学習)	ハター3遠隔 (リアルタイム学習)	地域医療連携と標準化	近藤 博史	医療情報部	地域医療連携と標準化について説明できる。	病診連携、病病連携、標準化、コード、標準規格
8	4/26(火)	1	122	対面	ハター3遠隔 (リアルタイム学習)	医療情報学講義まとめ	寺本 圭	医療情報部	これまでの講義内容について説明できる。	医療情報の利活用

教育グランドデザインとの関連: 3

学位授与方針との関連: 4

授業のレベル: 3

評価: 試験100%(4/26実施)

実務経験との関連: 無し

参考書: 1. 医療情報 第6版、情報処理技術編、医療情報システム編及び医学・医療編、篠原出版、2020年

臨床医学特論2

科目到達目標:臨床医学の重要なテーマについて基本知識を習得する。

科目責任者(所属教室):今村 武史(薬理学・薬物療法学)

連絡先:timamura@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	講義内容	担当者	分野・診療科	予習・復習内容	講義のキーワード
漢方医学										
1	4/1(金)	4	—	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	現代医療における漢方の役割	三谷 和男	薬理学・薬物療法学 (非常勤講師)	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	神農本草経、黄帝内経、傷寒論
2	4/4(月)	3	—	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	生薬と漢方処方	今村 武史	薬理学・薬物療法学	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	生薬、方剤、証、気血水、五臓、六病位
3	4/5(火)	3	—	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	和漢薬の薬理	上園 保仁	薬理学・薬物療法学 (非常勤講師)	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	和漢薬、漢方薬、作用機序、処方の基本
4	4/6(水)	3	—	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	日常診療における漢方医学の活用	植田 圭吾	薬理学・薬物療法学 (非常勤講師)	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	プライマリ・ケア、総合診療、証
5	4/8(金)	4	—	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	循環器内科医の考える漢方治療	北村 順	薬理学・薬物療法学 (非常勤講師)	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	漢方薬、西洋医学との違い
緩和医療										
6	4/19(火)	3	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	緩和医療における疼痛管理	大槻 明広	麻酔科	〈予習〉疼痛緩和法について右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉緩和医療における疼痛管理について講義時の配布資料を中心に復習すること。	オピオイド、NSAIDs、鎮痛補助薬、神経ブロック
7	4/19(火)	4	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	緩和医療における精神症状管理	梶谷 直史	精神科	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	精神腫瘍学、不眠、不安、抑うつ、せん妄、スピリチュアルペイン
8	4/21(木)	3	322・323 サテライト	対面	パターン1遠隔 (資料・課題学習)	緩和医療におけるチーム医療	山下 太郎	がんセンター	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	チーム医療、メディカルスタッフ、緩和ケア病棟、在宅医療
9	4/21(木)	4	322・323 サテライト	対面	パターン1遠隔 (資料・課題学習)	緩和医療の概念と歴史、症状管理	山下 太郎	がんセンター	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	緩和ケア、嘔気、便秘、腹水、呼吸困難、胸水、腹水、全身倦怠感
医薬品開発と臨床試験・治験										
10	4/7(木)	3	—	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	患者由来iPS細胞を用いた創薬展開	櫻井 英俊	薬理学・薬物療法学 (非常勤講師)	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	臨床研究、ヒトiPS細胞、ドラッグリポジショニング、再生医療、生命倫理
11	4/18(月)	3	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	医薬品開発と研究倫理(1)	今村 武史	薬理学・薬物療法学	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	ヘルシンキ宣言、創薬・育薬、ヒト対象医学研究倫理指針
12	4/18(月)	4	322・323 サテライト	対面	パターン3遠隔 (リアルタイム学習)	医薬品開発と研究倫理(2)	今村 武史	薬理学・薬物療法学	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	ヘルシンキ宣言、創薬・育薬、ヒト対象医学研究倫理指針
13	4/20(水)	3	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	GCPとIRB	遠藤 佑輔	研究推進機構 先進医療研究センター	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	ICH、GCP、治験実施計画書、治験責任医師、CRC、科学的・倫理的妥当性
14	4/20(水)	4	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	臨床試験・治験と薬効評価	砂田 寛司	新規医療研究推進センター 臨床研究支援部門	〈予習〉右欄のキーワードを用いて予習を行う。 〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	I～Ⅲ相試験、バイアス、プラセボ、ランダム化、DBT、医師主導、第Ⅳ相試験
15	4/22(金)	3	322・323 サテライト	対面	パターン2遠隔 (オンデマンド学習)	臨床研究とそのデザイン	尾崎 米厚	環境予防医学	〈予習〉実習等の今までの経験、学習をもとに明らかにしたい医学研究の仮説について考えておく。〈復習〉配布資料を振り返り臨床疫学的な課題解決方法を説明できるようにする。	観察研究、介入研究、症例報告、コホート研究、ランダム化比較試験、クロスオーバー試験、システマティックレビュー

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、4

評価:レポートを中心として総合的に評価する。

授業のレベル:3(応用科目)

実務経験との関連:現役の医師あるいは医療関係者がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

教科書:各講義において適宜紹介する。

臨床実習Ⅱ

科目到達目標：患者情報の収集、記録、診断、治療計画について学ぶ。患者との信頼関係に基づいた医療面接と診察法を学ぶ。
 基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法を学ぶ。基本的内科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ。
 基本的な精神症状の評価の仕方、面接法、治療を学ぶ。基本的小児科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ。
 基本的外科疾患を受け持ち、外科的治療を学ぶ。基本的産婦人科疾患を受け持ち、女性の健康問題、症候、診断、治療と予後を学ぶ。
 診療チームの一員として救急医療に参加する。
 地域社会(へき地・離島を含む)で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して、各々の実態や連携の必要性を学ぶ。

科目責任者：谷口 晋一(地域医療学)

連絡先：学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1～12週	別途指示		別途指示	対面	別途指示	鳥取大学医学部附属病院の診療科あるいは大学が指定する学外施設から実習科・実習施設を選択し、計12週間の実習を行う。 各実習の内容は「クリニカルクラークシップの手引き別冊」の各実習プログラムのページを参照。	各診療科 教員	学部教育支援室 左記診療科	各専門分野の疾患の診断・治療について推奨されたテキストで予習復習をおこなうこと。	「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。

教育ブランドデザインとの関連：1、2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連：1、2、3、4

授業のレベル：4

評価：全実習科共通の評価シートにて評価する。なお、全実習科・実習施設について全出席であることを単位認定の前提条件とする。

実務経験との関連：現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する実習を行う。

その他：正当な理由なき欠席、遅刻、早退は1秒たりとも認められない